

共同利用・共同研究成果発表会

日時：平成31年3月7日（木）13：00～18：00

平成31年3月8日（金）9：30～12：10

会場：高知大学 海洋コア総合研究センター セミナー室

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通じ、地球環境変動の要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的として設立された共同利用研究施設です。この成果発表会は、広く全国の皆様に今年度の研究成果をご紹介します。

3月7日（木）

13:00-13:10 開会挨拶 高知大学 海洋コア総合研究センター長 徳山 英一

13:10-14:10（座長：池原 実）

- O-01 「23 億年前、ガーナ・ビリミアン帯における島弧断面の岩相とその層序：GHB 掘削コアおよび露頭層序の比較」清川 昌一（九州大学）
- O-02 「後期古原生代の浅海域における酸化還元状態の変化：カナダ・ケープスミス帯」元村 健人（九州大学）
- O-03 「薩摩硫黄島・長浜湾における7 年間の水酸化鉄沈殿記録の復元」酒本 直弥（九州大学）
- O-04 「地震性泥質タービダイトを用いた地震履歴推定の試み」奥津 なつみ（東京大学）

14:40-15:55（座長：浦本 豪一郎）

- O-06 「化石脊椎動物の視覚機能復元に向けた現生トカゲ類における眼構造の定量的解析」山下 桃（東京大学）
- O-07 「亀裂評価方法確立への挑戦」高橋 美紀（産業技術総合研究所）
- O-08 「津波堆積物を調べ生物攪拌を知る」清家 弘治（産業技術総合研究所）
- O-09 「探査機搭載分光観測機器による小惑星表層の炭素定量的ための地上実験研究」藪田 ひかる（広島大学）
- O-10 「白亜紀末の巨大天体衝突に伴うクレーター形成時の大陸地殻の熱水変質」山口 耕生（東邦大学・NASA）

16:00-18:00 ポスター発表：概要紹介、引き続いてコアタイム（座長：朝日 博史）

- P-01 「深成岩から分離した鉱物単結晶の岩石磁気測定」加藤 千恵（九州大学）
- P-02 「還元化学消磁による堆積岩中の磁性鉱物の変化と磁気層序－熱消磁時CRM の抑制について－」穴井 千里（熊本大学）
- P-03 「岩石磁気を用いた須恵器窯焼成環境の復元」畠山 唯達（岡山理科大学）
- P-04 「複数の素材と手法による考古地磁気強度実験の実験精度の検討」北原 優（九州大学）
- P-05 「富士山溶岩を用いた5～9 世紀の古地磁気強度の復元」小松 弘路（岡山理科大学）
- P-06 「表層型ガスハイドレート産出域堆積物の磁気物性－上越沖堆積物を例に－」下野 貴也（明治大学）
- P-07 「二枚貝類の地球化学分析から探る鮮新世以後の古土佐湾沿岸海域の環境変動」本藤 脩太郎（高知大学）
- P-08 「フィリピン東岸のサンゴ骨格を用いた過去220 年間の西太平洋熱帯域の古環境復元」智原 睦美（岡山大学）
- P-09 「別府湾表層堆積物中碎屑物組成の時代変化」鈴木 克明（早稲田大学）
- P-10 「海洋底掘削コア中重晶石のESR 年代測定の試み」豊田 新（岡山理科大学）
- P-11 「えりも岬西方沖掘削（Exp.910）で採取した間隙水の地球化学」藤原 彩楽（千葉大学）
- P-12 「アフリカのザンビア共和国カブウェでの地下水や土壌の鉛汚染の移動経路の解明－鉛同位体比も用いて－」豊田 和弘（北海道大学）
- P-13 「Oxygen isotope study of magnetite ore from the Chandmani Uul deposit, southeastern Mongolia」Luvsannyam Oyunjargal（筑波大学）
- P-14 「貧酸素環境に生息する底生有孔虫の細胞構造の多様性」野牧 秀隆（海洋研究開発機構）
- P-15 「日本海若狭湾沖における深度トランセクト堆積物の元素組成比較」佐川 拓也（金沢大学）
- P-16 「日本海新潟沖で見つかった円錐台地形が泥火山なのか判断する」蛭田 明宏（明治大学）
- P-17 「南海トラフ周辺活断層の古地震学的調査－安乗口海底谷における検討－」杉戸 信彦（法政大学）
- P-18 「深海冷湧水系を主とする海底地質試料の物質科学的解析と海底地質の関連解明－チムニー、シロウリガイ、マンガンジュール等の非破壊物質科学－」石井 輝秋（静岡大学）
- P-19 「デジタル岩石を用いた不均質な岩石の弾性的特性の特徴化」池田 達紀（九州大学）

3月8日（金）

9:30-10:45（座長：山本 裕二）

- O-11 「沖縄トラフ海底熱水鉱床試料の岩石磁気測定」加藤 千恵（九州大学）
- O-12 「レスの帯磁率増加に寄与する白雲母含有の磁鉄鉱・赤鉄鉱ナノ粒子」兵頭 政幸（神戸大学）
- O-13 「Rock magnetic study of siliceous sediments recovered by ODP leg129」Alexandra Abrajevitch（愛媛大学）
- O-14 「中部日本の前期中新世堆積物の古地磁気方位とそのテクトニックな意義」星 博幸（愛知教育大学）
- O-15 「鹿児島県上甕島に分布する古第三系中甕層を用いた古地磁気層序の確立」山下 大輔（薩摩川内市役所）

11:00-12:00（座長：氏家 由利香）

- O-16 「砂岩層に産する方解石団塊における、酸素同位体比の改変－新第三系からの数例」森清 寿郎（信州大学）
- O-17 「亜寒帯北太平洋および亜熱帯西部北太平洋における溶存態鉛安定同位体の分布（KH-12-4次航海などの観測結果を中心に）」則末 和宏（新潟大学）
- O-18 「鹿島沖海底コアMD01-2412最上部に介在するクリプトテフラ～有孔虫観察用残渣試料をテフラ検出に再利用する試み～」青木 かおり（首都大学）
- O-19 「有孔虫の大規模分岐年代推定」石谷 佳之（筑波大学）

12:00-12:10 閉会挨拶

